

科目名	幼児と言葉				
担当者氏名	白川 晴美				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

保育内容である領域「言葉」の指導の基盤となる知識、技能を身につける。具体的には、幼児期の言語能力の発達と「言葉」のもつ意義について理解するとともに、幼児の言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践について身に付ける。

《テキスト》

プリント等適宜配布する。

《参考図書》

幼稚園教育要領解説（平成30年3月告示 文部科学省）フレーベル館
 保育所保育指針解説（平成30年3月月告示 厚生労働省）フレーベル館
 幼稚園連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省）フレーベル館

《授業の到達目標》

1. 領域言葉におけるねらいや内容を理解している。
2. 領域言葉のねらいや内容を踏まえ、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点を理解している。
3. 利用域言葉における評価の考え方を理解している。
4. 領域言葉で幼児が経験し身につけている内容と小学校の教科等とのつながりを理解している。

《授業時間外学習》

提示した課題やレポートを期日までに作成することがある。

《成績評価の方法》

定期テスト40%
 平常点（発表、授業態度など）20%
 提出物（プリント、課題、レポート）40%

《備考（教員経験の有無）》

保育士、幼稚園教諭、保育教諭として勤務した経験がある。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	領域言葉 基本的な理解①	領域言葉の基本的理解
2	領域言葉 基本的な理解②	人間にとっての言葉の意義と機能
3	領域言葉 基本的な理解③	幼児は言葉をどのように獲得するか
4	言葉を育て想像する楽しさを広げる活動①	したいことしてほしいことの表現
5	言葉を育て想像する楽しさを広げる活動②	体験や感じたことの表現
6	言葉を育て想像する楽しさを広げる活動③	注意して聞き、わかるように話す
7	言葉を育て想像する楽しさを広げる活動④	言葉の楽しさや美しさの体験
8	言葉に対する感覚を豊かにする保育実践①	動作模倣、音声模倣
9	言葉に対する感覚を豊かにする保育実践②	やりとり遊び、見立て遊び
10	言葉に対する感覚を豊かにする保育実践③	「絵本」の選定と活用方法
11	言葉に対する感覚を豊かにする保育実践④	「紙芝居」の選定と活用方法
12	言葉に対する感覚を豊かにする保育実践⑤	「言葉遊び」の選定と活用方法
13	言葉に対する感覚を豊かにする保育実践⑥	イメージや言葉を豊かにする方法
14	言葉に対する感覚を豊かにする保育実践⑥	日常生活を文字などで伝える方法
15	授業の総括	授業のふり返り・まとめ